

平塚市ごみ通信

第 2 号

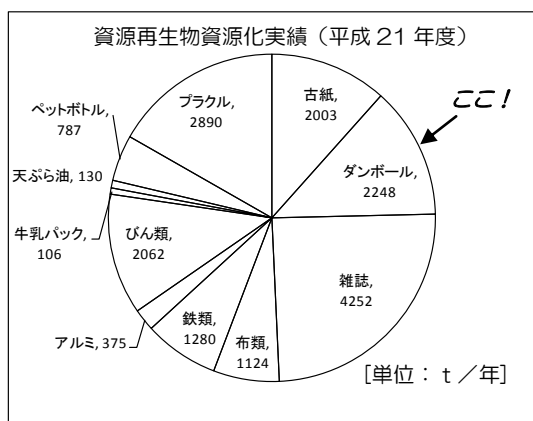
平成 23 年 3 月 1 日発行

発行 平塚市 環境部 資源循環課（平塚市浅間町 9-1） TEL：0463-21-9763（直通）

FAX：0463-21-9603 <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/shigen-j/gomi-top.htm>

『ダンボールは、大切な資源です』

今回は、昨年 12 月の広報ひらつかで取り上げましたダンボールについて詳しくお話します。現在、ダンボールは資源再生物として収集したあと、多くが再びダンボール紙として利用されています。



昨年度、ダンボールは左図のように 2,248 t が資源化されました。これは平塚市全体で資源再生物を資源化した実績の 13% にあたり、量は雑誌、プラクルの次に多く収集されたことになります。

しかし、焼却処理施設に搬入されたごみのうち、約 4 割が紙・布類です。この中には、資源再生物として利用できるダンボールが焼却されてしまった分も含まれています。

すべてのダンボールを資源再生物の日に出しましょう。



資源再生物として出せば 2 つの利点があります！

1. 焼却処分されないため、地球環境にやさしい取り組みとなること。
2. ダンボールがごみとしてではなく価値のあるものとして再資源化業者に売却でき、その売上金が自治会（市民）に還元されること。



ダンボールの出し方

- 資源再生物の収集日にごみステーションに出す。
- 束ねてひもで縛って出す。 ● 雨の日も出せます。

お願い

ごみをダンボールに入れて出されると焼却場にある破砕機の故障の原因になります。

燃せるごみ等の容器に利用しないで、
資源再生物として出してください。

地デジ対応は大丈夫？

地上波の完全デジタル化が平成 23 年 7 月 24 日から始まります。地デジ対応型テレビへの買い替えにより不用になったテレビは、次のいずれかの方法により処分することが家電リサイクル法で定められています。

【処分方法】

- ① 廃棄する品物を、以前購入した店に引取りを依頼する。
- ② 新品と買い替えた店に引取りを依頼する。
- ③ 引取り業者へ直接搬入する。



減量化

資源化

適正処理

を進めます。

市民のみなさんが実践できること

●電動生ごみ処理機やコンポスターの利用

生ごみの処理機を利用した減量化方法といえばこれ！電動生ごみ処理機については市の補助制度（最高3万円まで）があります。



※生ごみ処理機の利用方法等については、今後ホームページ等でお伝えする予定です。

●水切りの実践

焼却されるごみのうちの約 50%近くが水分です。生ごみの水分をなるべく減らすことは平塚市のごみの焼却量削減に大きく貢献します。

〔取り組み例〕

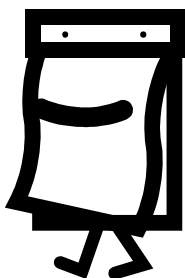
- ・水洗いしたあと1日天日干し等で乾燥させる
- ・野菜等は皮をむいてから水洗いする
- ・水切りネットをつかう



●紙・布等は燃せるごみではなく資源再生物へ

燃せるごみとして焼却されているもののうち、約4割が紙・布類です。

特に、ダンボールや菓子箱等の紙類、厚手の紙類は資源再生物として利活用できますので、燃せるごみには出さず、月2回の資源再生物の回収日に出しましょう。



事業者のみなさんが実践できること

●許可業者への移行

会社等からでる一般廃棄物の処理を委託するには市の許可をもつ民間業者に依頼します。



●事業系ごみの排出ガイドラインの活用

会社等からでるごみの処理の方法等を記した本市のガイドラインを参考にごみの適正処理を行います。



平塚市が実践すること

●ダンピングによる指導

燃せるごみ以外にごみ焼却場にごみが投入されていないか、ダンピング（展開検査）しています。



●多量排出事業者への指導

1月に3トン以上の事業系一般廃棄物を継続的（又は年間36トン以上）に排出する事業者に対し、減量化を促しています。



●啓発事業

ごみ通信や広報ひらつか等の媒体を活用しながら、わかりやすく「ごみ」に関する情報を提供します。

資源化のためのモデル事業

●剪定枝の資源化事業

市内の公園や学校から出る剪定枝を資源として利活用しています。



●大型生ごみ処理機モデル事業

めぐみが丘自治会を対象に家庭の生ごみを大型生ごみ処理機に投入し、精製した生成物を堆肥として循環活用しています。

